

川がパンク しちゃった!

もりのがっこうとどうぶつたち

後 誠介 きかく・黒川なお ぶん・吉田葉子 え



はる 書房

「さくしゃから」



この え本^{ほん}は、
いし^{いし}や つち^{つち}や すなが、
かわ^{かわ} 川^{かわ}ぞこに たまって 川^{かわ}が あさくなったり、
き^き木^きが はしに ひっかかったりして、
かわ^{かわ} 川^{かわ}が パンクする おはなしです。

このほか
大きな川^{かわ}（本^{ほん}りゅう）の みず^{みず} 水^{みず}がふえて、
小さな川^{かわ}（しりゅう）の みず^{みず} 水^{みず}が
ながれこめなくなると、
小さな川^{かわ}が パンクします。

このほか
かわ^{かわ} 川^{かわ}ぞこや 川^{かわ}ぎしを にごった水^{みず}が けずって、
かわ^{かわ} 川^{かわ}ぎしを まもるかべが くずれると、
かわ^{かわ} 川^{かわ}が パンクします。
そして、あっというまに みず^{みず} 水^{みず}が あふれてきます。

あふれた にごった水^{みず}には、
ばいきんが いっぱい あります。
にごった水^{みず}に つかったら、
て^て手^てや あし^{あし} 足を きれいに あらいましょう。

うしろ せいすけ

【解説】

この物語は、ここ数日の強い雨が降り止まない場面から始まります。

そこへ大慌てで戻ってきた、ふくろうの校長先生が事態の急を告げます。「もりのがっこう」の近くを流れる小川が増水し、岸からあふれようしていました。このとき小川の上流部では、“激しい雨”が降っていたのです。

山間部に降った雨は、水が川に集まるまでの時間が短く、そのため急に増水します。そして川から水が溢れて、「あっという間」に家や田畑を水浸しにしたのです。

これは、水害の始まりに過ぎませんでした。本流の上流部では山崩れや土石流が多発し、大量の土や石と砂、木や草が川に流れ込みました。下流に流された土や石と砂、木や草は橋のかかる場所にたまり、川の流れをさまたげ、氾濫させるのです。“川（本流）がパンク”するまで、ほんとうに「あっという間」です。

橋からあふれた水は、猛烈な勢いで辺りの家や車などを押し流しました。そして夜通しの雨で、「もりのがっこう」周辺一帯は軒下まで浸水。やがて水は引き始めたものの、そのあとの光景は目をおおばかりでした……

大水害が起こるとき、少しずつ事態が悪化していくのではありません。

ある時点（転換点）を越えたら、一気に破局的な事態へと進みます。

「あっという間」に逃げられなくなる。

「あっという間」に、命の危機にさらされる。水害の怖さを伝えたいのです。

参考……『紀伊半島大荒れ——大地の成り立ちからみた豪雨災害』（後誠介著、はる書房、2022年）。

作者紹介

後 誠介 うしろ せいすけ

和歌山県那智勝浦町生まれ。広島大学教育学部卒業。和歌山大学客員教授(防災研究教育センターを経て、災害科学・レジリエンス共創センター)、南紀熊野ジオパーク推進協議会学術専門委員会委員。

主な著書『熊野 謎解きめぐり——大地がつくりだした聖地』(はる書房、2021 年)、『紀伊半島大荒れ——大地の成り立ちからみた豪雨災害』(はる書房、2022 年)。

黒川なお くろかわ なお

和歌山県新宮市育ち。近畿大学生物理工学部卒、横浜国立大学大学院(MOT: 技術経営)修了。2017 年にライターとして独立。マネジメントやテクノロジー、ライフスタイルなどさまざまな分野取材し、書籍などの構成や執筆を手がける。

主な著書『〈ゼロからわかる IT ほんき入門+マンガ〉生成 AI のなかみ』(橋本泰一監修、インプレス、2024 年)。

吉田葉子 よしだ ようこ

北九州市生まれ、東京都在住。武蔵野美術大学卒業。映像製作会社を経てフリーランスのイラストレーターに。

主な作品『どうなってるの? どうぶつの歯』(鈴木勝・貴博 作、はる書房、2019 年)、『どうなってるの? どうぶつの歯——海の生きもの編』(鈴木勝・貴博 作、はる書房、2020 年)。

ISBN978-4-89984-229-3

C8795 ¥1700E

定価:本体1,700円+税

はる書房

読んであげるなら 4才から

じぶんで読むなら 小学校初級むき



9784899842293



1928795017005

